

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

JFEケミカル株式会社 西日本製造所 笠岡工場 [福山地区]

(2) 事業所の所在地

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

その他有機化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から令和2年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量												
実績に対する自己 評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：装入量(千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度 の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)， 下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成27 年度		令和2年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	214.5		204.0	207.0	211.1	207.8		
			-4.9	3.5	1.6	3.1	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	214.5		204.0	207.0	211.1	207.8	0.0	0.0
			-4.9	3.5	1.6	3.1	100.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	116.7		111.0	116.5	112.7	115.8		
			-4.9	0.2	3.4	0.8	100.0	100.0
実績に対する自己 評価	原単位を対基準年度比3.1%低減させることができた。 以下の2つの効果による。 ①処理生産量増による原単位の改善 ②操業条件調整でCガス燃料の削減によるCO <sub>2</sub> の削減(230t/年)							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	精製省エネ蒸気トラップ設置	100tCO <sub>2</sub> /年 削減 (計画中)	蒸気トラップを省エネ型に変更することで、蒸気ロスを削減する。
2	炉温度の調整によるCガス削減	230tCO <sub>2</sub> /年 削減	酸化鉄粉体特性に問題がないように、炉温度を調整することで、Cガスを削減する。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。